

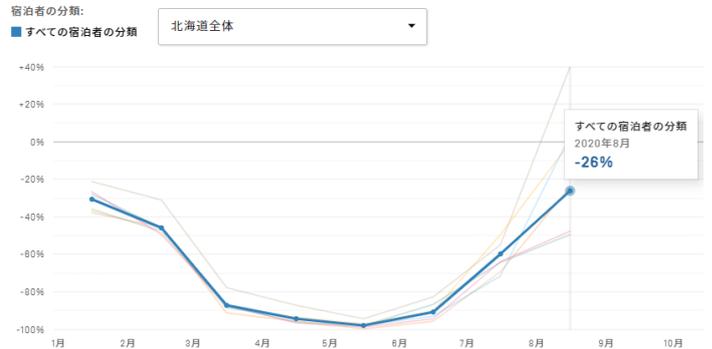
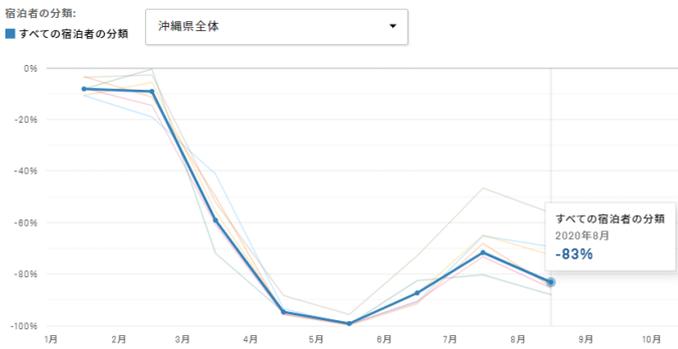
# 北海道と沖縄

## (コロナの影響度の現われ方の違い)

10月②のごあいさつ  
 山内公認会計士事務所  
 2020年10月10日(土)

沖縄県の宿泊客数、飲食客数の回復が全国と比べて遅いようだ。V-RESASで見ると、2020年8月現在で、沖縄県における宿泊客の現状は△83%(回復率17%)、北海道の現状は△26%(回復率74%)となっている。

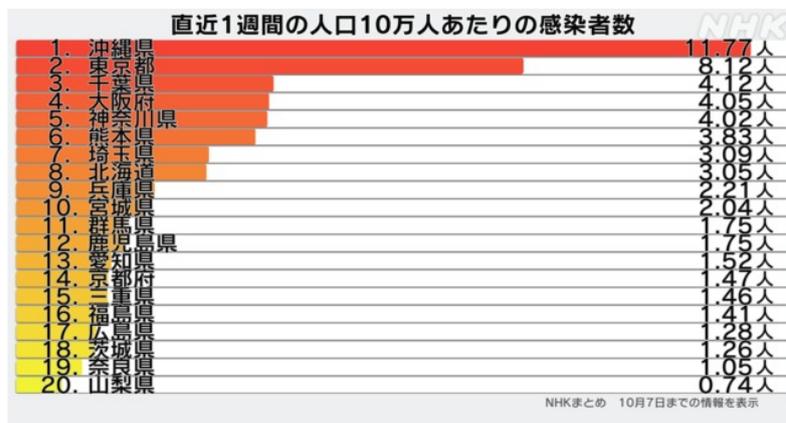
飲食については、沖縄が9月第2週で54%に対し、北海道は84%である。



日本の北と南の観光地で、観光客を中心としたと思われる比率がこのように大きな差があるのは何故だろうか。

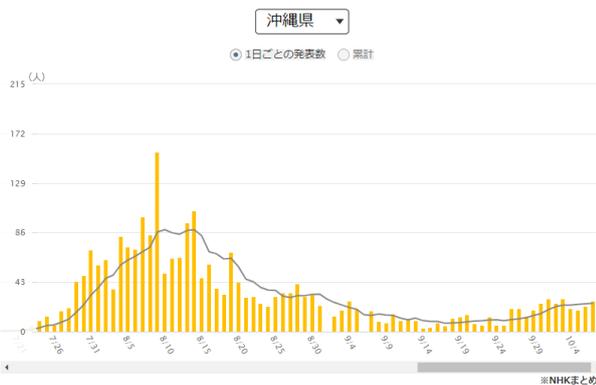
他の要因も色々あるのかもしれないが、この理由は、主にコロナ感染率にあると思われる。人口10万人当たりの感染者数ランキングは、10月7日までに沖縄県が第1位11.77人、北海道は第8位の3.05人と約4倍となっている。

### 直近1週間の人口10万人あたりの感染者数



これは、感染者数の爆発(山)の操作(対応)にも問題があるのではなからうか。

感染者数の推移(7月末旬~10月初)を見ると、沖縄県は、7月末から8月末の約1ヶ月間に大きな山があるのに対して、北海道はそのような山はなく、9月下旬から増加傾向にある。この印象が、両地域の観光客数に影響したと思われる。そしてこの山は、県の対応のまずさによって作った山であった。



何事でもそうだと思うが、山(ピーク)の位置によって、全体の流れの印象(盛り上がり)が定まるのではないだろうか。大きな山によって沖縄は注目を集めることになった。それは、アイドルやベストセラー現象などのプロデュースと同じやり方であり、ここに秘密があるように思う。

結果として、悪い意味で、コロナ感染率日本一というアイドル現象を作った県には責任があると感じた。